



一般社団法人日本スクエアダンス協会東北統括支部

東北統括支部ニュース

<http://jsda-tohoku.miz.jp/>

発行人 水間清蔵
 発行所 一般社団法人
 日本スクエアダンス協会
 東北統括支部
 2020年10月1日発行
 通巻 第147号

2020年度 支部定例幹事総会報告と 例会の再開にあたって

東北統括支部長 水間 清蔵



2020年1月に日本で新型コロナウイルス感染者が報告されてから7カ月、驚くほどの速さで日本中に蔓延し恐怖と不安を感じたことでしょうか。私たちスクエアダンス愛好者も緊急事態宣言により自粛活動をとってきました。今まで当たり前の行動が当たり前にできなくなったことで、ますますスクエアダンスの出会い・ふれあい・そして平穏であることの大切さを感じたことでしょうか！その後緊急宣言の解除により自粛要請制限が緩和され例会も徐々に再開されてきました。例会の開催にあたっては、感染が拡大していくこの環境の中でクラブ活動も厳しい環境の中にあります。会員との連携・情報交換・S協がすすめている2カップルダンス等を積極的に取り上げて、お互いのコミュニケーションを深めていきましょう。7月以降東京はじめ感染者が過去最多と感染拡大に歯止めがかからない状況です。支部内でも例会がスタートしておられるクラブもありますが、例会開催にあたっては、国・県・市町村・S協等の感染防止策（3密：密閉・密集・密接）を遵守して、且、念には念を入れての対応をお願いいたします。

スクエアダンスは「友の輪・人の輪・ダンスの輪」を旨に、新型コロナウイルス感染症の早い終息を願いつつ、皆様との出会いを楽しみにしております。

さて、2020年度の支部定例幹事会は、新型コロナウイルス感染症防止のために、事前に幹事の方々へ、書面審議の連絡を行った上での書面審議とさせていただきます。2020年度4月1日現在の東北統括支部の団体数は36団体、幹事数45名です。議決権行使書面回答書の返送者数は43名、未提出者（棄権）2名。事務局での集計の結果を報告させていただきます。詳細につきましては、各団体幹事の方々へお渡しいたしておりますのでご確認願います。

議決権行使内容

- 第1号議案 2019年度事業報告
- 第2号議案 2019年度決算報告
- 第3号議案 2019年度監査報告
- 第4号議案 2020年度事業計画（案）
- 第5号議案 2020年度予算（案）
- 第6号議案 2020年度ローテーション・ブロック分け（案）
- 第7号議案 規約について
- その他 役員改選
中期計画について

上記すべて承認されました。また、貴重なご意見等多数いただき今後の支部運営に反映させていただきます。

また、2020年度の事業につきましては、先般総務役員会にて検討しました。現在の新型コロナウイルス禍での事業の開催は、3密（密閉・密集・密接）を回避して安全性を確保するには困難との事で、残念ですが中止と判断致しました。会員の方々のご理解を賜りますようお願いいたします。



(一社) 日本スクエアダンス協会 2020年度東北統括支部定例幹事総会

中国武漢市を発生源とする新型コロナウイルス感染拡大に伴い、定例幹事総会は書面による議決権行使方式により開催されました。以下議題等についてご報告します。

[報告事項]**第1号議案—事業報告****(2019年度事業計画概要)**

1. S協施策に基づき普及推進を図る。
2. スクエアダンスの普及・発展のため、各講習会・研修会を実施する。
 - ①体験会及び初心者講習会の推進
 - ②普及サポーター育成講座の開催
3. 指導者連絡協議会との連携を図り、指導者の資質向上を図る。

(実施状況)

1. S協施策に基づき普及推進を図りました。
2. スクエアダンスの普及・発展のため、各講習会・研修会を実施しました。
 - ①体験会及び初心者講習会を推進しました。
 - ②普及サポーター育成講座を開催しました。
3. 指導者連絡協議会との連携を図り、指導者の資質向上を図りました。

(主な事業)

1. 2019.4.21 普及サポート育成講座 盛岡市内で開催
講師 辻田 満氏 55名参加
2. 2019.6.15～16 第54回東北SD講習会
盛岡市内で開催しました。
講師 コーラーコース 澤藤 敏夫氏 参加者9名
講師 ダンサーコース 佐々木 傳氏 参加者72名

3. 2019.9.21 第40回東北RD講習会

会場仙台市内で開催しました。

講師 野村重一氏・都志子さんご夫妻 参加者72名

4. 2019.11.9～10 第44回東北SDジャンボリー

仙台市内で開催しました。

ゲストは松井 和也氏 参加者128名

(主な会議)

2019.4.14 定例幹事総会 仙台市内で開催しました。

2019.11.17 県支部代表者会議 仙台市内で開催しました。

(その他)

支部機関誌 年2回発行 (145号・146号発行済み)

ウェブページ 随時更新

(東北SD・RD指導者連絡協議会共催事業)

1. 2019.10.22 2019年度第1回SD・RD研修会

仙台市内で開催 27名参加

2. 2020.3.22 2019年度第2回SD・RD研修会

秋田市内で開催予定

(コロナウイルス感染防止のため中止となりました)

[審議事項]**(2020年度事業計画概要)**

1. S協施策に基づき、支部内の課題共有化を図り、問題解決と普及推進に取り組む。
2. スクエアダンスの普及・発展の為、各種講習会・研修会を実施する。
 - ・体験会及び初心者講習会の推進等
3. 指導者育成のために、指導者連絡協議会との連携を図り指導者の資質向上を図る。

(予定されていた主な事業)

(2020年7月12日開催された総務役員会において、今年度実施予定の事業はコロナウイルス感染拡大に伴い、すべて中止になりました)

1. 第41回東北RD講習会 2020年5月9日
会場：仙台市内
講師：野村 重一氏・都志子さんご夫妻
2. 第55回東北SD講習会 2020年10月中旬実施予定
会場：仙台市内
3. 第45回東北SDジャンボリー 2020年11月7日～8日
会場：八幡平ハイッ
ゲスト：勝亦 隆夫氏

(主な会議等)

1. 定例幹事総会 2020年4月12日
書面による議決権行使により実施しました。
2. 県支部代表幹事会 2020年11月29日実施予定
会場：仙台市内

(その他)

- ・支部総務役員会 随時開催します
- ・支部機関誌 年2回発行の予定でしたが147号のみの1回とします。
- ・WEBページ 随時更新します。

(東北SD・RD指導者連絡協議会共催事業)

コロナウイルス感染拡大に伴い2020年度の研修会は中止とします。

- ・2020年度第1回SD・RD研修会

2020年6月14日→9月13日に延期

- ・2020年度第2回SD・RD研修会 2021年3月中旬予定

[役員改選] (任期 2020年4月1日～2022年3月31日)(敬称略)

1. 理事(東北統括支部長) 水間 清蔵
2. 副支部長 佐々木 傳
3. 財務担当 中川 学 佐藤 英俊
4. 総務担当 湯村 豊 水間いく子
5. 監事担当 大泉 信子 佐々木宏子

県支部代表幹事

- ・青森県 石館 愛子
- ・秋田県 春日 幸夫
- ・岩手県 佐々木 傳 高橋 雅子
- ・宮城北 水間 清蔵 湯村 豊
- ・宮城南 中川 学 水間いく子
- ・山形県 渡邊 智和
- ・福島県 岩野 龍彦

広報委員

- ・支部機関誌編集担当 湯村 豊
- ・支部WEB担当 渡邊 智和

評定委員(コンベンション・ジャンボリー等)

評定委員 水間 清蔵 中川 学 水間いく子

東北統括支部ライセンス委員会

ライセンス委員長 水間 清蔵
ライセンス委員 佐藤 英俊 中川 学 水間いく子

書面による議決権行使により、報告事項・審議事項については賛成多数により承認されました。

東北県・支部代表者からの現況報告とエール

全国でまだコロナウィルス感染拡大が落ち着かない状況です。東北のコロナウィルス感染者数は全国的には少ないのですが、各クラブの事情により例会状況が違います。各県代表者に自県のクラブ例会状況を紹介して頂き、自県のダンサーへ「エール」を送って頂きました。

岩手県内SDクラブ会員へのメッセージ

岩手県支部代表者 佐々木 傳



6月に開催された岩手県SD連絡協議会4役会議で岩手SD連絡協議会主催の事業、そして、7月に開催された東北統括支部総務役員会で統括支部主催の2020年度の事業は、全てがコロナウィルス感染防止等から中止となりました。また、県内各クラブのアニバはじめ各種パーティーや体験会、初心者講習会等も軒並み中止となりSD界では最悪年となりました。特に東北ジャンボリーには、主管県内SD会員の総結集を企てての中止はショックでした。しかし、三密防止は出来かね、参加者の命、不安の解消は出来ません。

未コロナウィルス感染者が全国ただ一県だけでしたが残念ながら7月下旬に陽性者が発生し、本日(8/20)現在で10名となり、これ以上の拡大にならないことを祈っています。

県内SDクラブの例会は休会後、再開はまちまちで、早いクラブは6月から、遅いクラブは9月からスタートと聞き及んでいます。三密を守るべく、マスク、消毒、換気は勿論、それぞれ創意工夫し、S協の予防策を実行に移し、再開している。

岩手県内のダンサーの皆さんへ

是非、現在のコロナ禍でSDが出来なかった苦境を乗り越え、このピンチをチャンスへと収束後のSDの楽しさを爆発させるべく機会を目指し、各クラブ例会で研鑽して頂きたいと思えます。岩手県SD連絡協議会はその機会を企てて参ります。

青森ゆらラSDC 石館 愛子



ここ青森もねぶたが中止になり寂しい夏です。お盆も終わり昼間は暑いとはいえ朝晩に吹く風、虫の声に秋を感じます。県内のクラブに今のところ感染者が出ていないのでホッとしています。

コロナが広がり始めた3月から休会にし、5月の役員会での話し合いの結果、マスク着用は勿論、人数は2セット以内になるようにし、休憩の椅子は一つ置きに、休憩時間は換気に注意して少し長めに取り、ミーティング時のおやつは無し、素手の人は1チップ毎に手指の消毒、クラブのある津軽地区に感染者が出たら即休会として6月から例会の再開を決定しました。再開にあたり、S協からの注意に沿った感染防止対策、例会参加条件、例会プログラムを文書にして会員に送付しました。6月は2セットで間隔を広めにとって踊ったりもしましたが、長いお休みだったのでビギナーさんは基礎からゆっくり復習することが大事でリラックスすると思いました。

7月に青森市に感染者が出たため再度休会にし、8月の再開前に再度文書を送り第3週から始めています。やはり踊ると心身ともにストレス解消になりますよね。みんなとお話も弾みますね。

今回のことでスクエアダンスが私の生活の一部で元気の素だったと再確認しました。

9月3、4週目は無料体験会を予定していますが先が見えません。今まで経験したことのない状況の中、会員のモチベーションを引き上げ、退会者を防ぎクラブを維持するだけで精一杯です。涼しくなったら少しずつ皆が戻ってくれるといいなと思っています。踊っているひと時だけでも新型コロナのことを忘れて楽しみたいですね。コロナが少しでも下火になることを祈っています。

青森県内のダンサーへ「今は試練の時」

秋田県代表

秋田スクエアダンス30 春日 幸夫



県内に4クラブがあり、内3クラブは3～6月は休会していました。7月からは活動制限が緩和されて、例会を始めています(もう一つのクラブは複数の体調不良の方がいて、2月から継続して休会中です)。

コロナウィルスに対するS協からの指示に従った取組状況

1. 会場の換気、会場への消毒薬の設置
2. マスクの着用、手袋の使用
3. スイグは当分行わない。
4. 1チップを短めに休憩時間を長く取り、いつもより終了時間を早めている。
5. 休憩時のミーティングは、間隔を空けて座っている。
6. 自分の体調を見て、例会出席を呼び掛けている。

秋田県内のダンサーへ

「コロナウィルスの第2波感染が全国的に拡大しています。例会では留意事項を守って感染予防に努めると共に特に夏場は熱中症予防にも十分気を付け、健康管理に努めましょう！」

山形県代表者

山形SD愛好会 渡邊 智和



コロナ感染のため今年の行事はほとんど実施できていません。

4月1日の初心者講習会中止、4月15日のクラブ総会中止、総会資料を会員に送付して書面審査で承認してもらいました。例会も中止しコロナ感染が収まってきた7月1日に電話連絡網で案内して、例会のあり方を考えてもらい、どのようにしていくか、無理をしないで参加出来る人は例会を開催しようとなり、30分ほど足慣らしの踊りをおこないました。7月15日に参加出来る人でベーシック、MSを実施しましたが、動作を忘れてる人が多く、コーラーも大変でした。マスクをし、1チップ終わった後に手を消毒感染にも気を付けましたがマスクしての踊りは疲れ、2時間弱で止めました。

8月はお盆で人の行き来が多くなるとで、8月の例会は中止した方がよいとの意見が多くあり、中止となりました。9月からは例会日を半分にして実施する予定です。

山形スクエアダンスさくららは現在休会中です。開始については会員で話をして決定していくそうです。

山形県ダンサーへ

「コロナウィルスと暑さに注意しましょう」

東北県・支部代表者からの現況報告とエール

福島県代表者

福島SDC 岩野 龍彦



福島県では2つのクラブの活動状況を報告します。4月から休止しておりました例会について、郡山SDCについては7月初めのミーティングにて、7月から3密を避け、SD協会及び施設の方針に従って徐々に開始しております。

福島SDCにおいては8月初めにミーティングを開き、8月から月3回の例会をスタートした所であります。何れも国、県、施設、協会の方針に従って心配しながら踊り始めております。

福島県内のダンサーへ

「コロナにかからない、うつさないを目標に頑張りましょう」

宮城県内の状況

宮城県は6月の非常事態解除から例会を実施しているクラブは現在も継続して、例会時間を縮小して実施しています。

クラブ内の諸事情により、9月現在でも本格的な活動を休止しているクラブもあり、宮城県内での活動が一貫している状況にはなっていません。今も、いつ市民センターが使えなくなってしまう事に戦々恐々となっています。

宮城県内のダンサーへ

「今こそクラブが丸となって 大胆に、そして慎重に行動しましょう！」

青森県のクラブから

オールエイトスクエアーズ

藤田 隆一



3月から休会中です。世界的なコロナウイルス感染拡大が終息するまでは程遠いと考えますが、感染状況が終息の兆しを見せた段階で、1チップ毎の消毒を前提に、会員の意向を尊重して再開したい。

ホワイトホーススクエアーズ

富田 正子



3月初めから6月末まで、会場の公民館の閉館に伴い活動が停止し、7月から会場は使用できたが、スクエアダンスは密なスタイルの踊りなので公民館側から自粛を要請された。クラブの会員はほとんどが70歳以上の高リスク集団なので、活動を再開しても欠席者が多く、セットを組めない可能性が高く、万が一活動が原因で感染者が出たら、村社会の八戸では今後スクエアダンスの活動が出来なくなる恐れがある。以上を考慮し7月30日のミーティングで取り合えず3月末まで活動休止と決定しました。

健康的で楽しいスクエアダンスサークルは何処へ

弘前スクエアダンスクラブさくら 松井志津彦



今年2月頃、横須賀に居た自分はそれはもうダンスの例会（戸塚ベルベットSDC）と近郊のアニバ参加と満喫していました。まだコロナは感染が拡大する前で侮っていました。しかし徐々にコロナは蔓延し「鎌倉ビーチ&スター」他、軒並みにクラブアニバが中止、クラブの例会も休止になり、3月末津軽の雪融けを待ち帰郷をと。弘前、東京の子供たちに猛反対されながら14日間の自宅待機を条件に帰郷。箱根での泊まり込みの神奈川県スクエアダンス講習会が懐かしい思い出です。

例年弘前さくらは4月のお花見に合わせてアニバを開催していますがそれも中止に。例会も4.5.6月休止。感染者ゼロの弘前ですがやっと7月から消毒液、手袋、マスク、コーラーはフェイスシールドを装着し、三密回避で3ヶ月ぶりに再開されました、スクエアダンス愛好の皆様、クラブ例会やアニバ中止で不完全燃焼でしょうね。もう少しの辛抱です。コロナもきっと退散してくれることを信じて、再会出来る事を楽しみに、期待してなんとか乗り切りましょう。

編集者のつぶやき

約50年以上スクエアダンスを踊ってきた私が、今回のコロナウイルス感染防止による長期の例会中止は東日本大地震以来です。中止期間は何をすべきかを考えた時、全国講習会で講師の金子ジュニアが教えてくれた言葉を思い出しました。「毎日1回はスクエアダンスに関する事を10分でも良いから、歌う、聞く、学ぶを実行してください」と助言してくれました。今こそ皆さんも1日10分で良いのでスクエアダンスに取り組んでみてはいかがでしょうか！